



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月27日

上場会社名 フジオーゼックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7299 URL https://www.oozx.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 辻 本 敏
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 (氏名) 藤 川 伸 二 (TEL) (0537) 35-5873
 四半期報告書提出予定日 2023年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	16,176	—	794	—	921	—	597	—
2022年3月期第3四半期	16,913	26.2	1,330	—	1,420	—	756	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 679百万円(—%) 2022年3月期第3四半期 1,362百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	290.81	—
2022年3月期第3四半期	367.84	—

(注) 2022年3月期第3四半期連結累計期間は、在外連結子会社4社の決算日の変更等により、当該連結子会社について2021年1月1日から2021年12月31日までの12か月間を連結しておりますので、対前年同四半期増減率は記載していません。詳細は四半期決算短信(添付資料)2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	34,723	27,774	78.7
2022年3月期	34,672	27,362	77.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 27,312百万円 2022年3月期 26,919百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	65.00	—	65.00	130.00
2023年3月期	—	65.00	—		
2023年3月期(予想)				65.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	—	850	—	950	—	550	—	267.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 2022年3月期は、在外連結子会社4社の決算日の変更等により、当該連結子会社について15か月間を連結しておりますので、対前期増減率は記載していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	2,055,950株	2022年3月期	2,055,950株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,085株	2022年3月期	2,065株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	2,053,873株	2022年3月期3Q	2,053,926株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の予想の前提となる条件等については四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内外の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、活動制限も緩和され、景気は緩やかな持ち直しの動きがみられるものの、ウクライナ情勢の長期化を起因とした原材料価格、エネルギー価格上昇の継続に、円安から円高への急激な為替変動等による懸念も広がり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する自動車業界につきましては、依然として半導体を始めとする部品調達不足による生産調整が継続、また中国の新型コロナウイルス感染拡大に伴う販売店の営業停止による大幅な生産調整など、生産への影響は継続しています。

このような市場環境の中、在外連結子会社が前年同期12か月連結から当期は9か月連結となったことを主因として、前年同期と比較して海外販売は32.6%の減少となりました（在外連結子会社4社におきましては、前年同期は、決算日の変更および連結決算日に仮決算を行う方法への変更により、2021年1月1日から2021年12月31日の12か月間の経営成績を連結していることから、在外連結子会社について2021年4月1日から2021年12月31日までの9か月間を連結した場合との比較では13.5%の販売減）。国内販売は四輪車向けの販売は好調に向かい、引続き好調な建機、産機向けの販売増によって、前年同期と比較すると14.2%の増加となりましたが、国内外を合わせると4.4%の販売減となりました。（在外連結子会社について2021年4月1日から2021年12月31日までの9か月間を連結した場合との比較では4.8%の販売増）。

利益につきましても、引き続き固定費の徹底圧縮による原価改善活動など収支対策に取り組んでおりますが、海外販売の減少、原材料費、エネルギーコストの増大により前年同期比利益減少となりました。

以上の結果、売上高は16,176百万円（前年同期比738百万円減）、営業利益は794百万円（前年同期比536百万円減）、経常利益は921百万円（前年同期比499百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は597百万円（前年同期比158百万円減）となりました。

参考となりますが、在外連結子会社4社につきましては、前年同期（2022年3月期第3四半期）が2021年4月1日から2021年12月31日までの9か月間であった場合の連結経営成績は、売上高は15,431百万円、営業利益は957百万円、経常利益は1,054百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は490百万円であります。

2023年3月期第3四半期の連結経営成績（2022年4月1日～2022年12月31日）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益		1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	16,176	△4.4	794	△40.3	921	△35.1	597	△20.9	290.81
2022年3月期第3四半期	16,913	26.2	1,330	—	1,420	—	756	—	367.84

（注）2022年3月期第3四半期の連結経営成績は、在外連結子会社4社の決算日の変更等により、当該連結子会社について2021年1月1日から2021年12月31日までの12か月間を連結しております。

（参考）2022年3月期第3四半期において在外連結子会社の第3四半期が9か月間（2021年4月1日～2021年12月31日）であった場合の連結経営成績

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益		1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	16,176	4.8	794	△17.1	921	△12.6	597	21.8	290.81
2022年3月期第3四半期	15,431	15.2	957	—	1,054	—	490	—	238.71

なお、当社グループは、単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ51百万円増加し34,723百万円となりました。総資産の増加の主な内訳は、流動資産（その他）に含まれる預け金691百万円、減少の主な内訳は、有形固定資産559百万円であります。

流動資産（その他）に含まれる預け金は、運用を目的として手元資金を関係会社へ預け入れしたことにより増加しております。有形固定資産は、減価償却等により減少しております。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ361百万円減少し6,950百万円となりました。負債の減少の主な内訳は、未払法人税等266百万円、長期借入金165百万円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の非支配株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ412百万円増加し27,774百万円となりました。純資産の増加の主な内訳は、利益剰余金の増加330百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年10月27日に公表した連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,500	1,300	1,400	900	438.20
今回発表予想(B)	21,000	850	950	550	267.79
増減額(B-A)	△1,500	△450	△450	△350	—
増減率(%)	△6.7	△34.6	△32.1	△38.9	—
(ご参考)前期実績 2022年3月期	22,269	1,571	1,784	985	479.69

(注) 上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますのでご了承ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,546,134	5,423,834
受取手形及び売掛金	4,571,102	4,541,353
商品及び製品	2,284,894	1,999,807
仕掛品	1,382,969	1,340,650
原材料及び貯蔵品	1,420,943	1,451,137
その他	213,308	1,314,944
貸倒引当金	△7,000	△7,000
流動資産合計	15,412,350	16,064,725
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,338,275	4,221,021
機械装置及び運搬具(純額)	10,391,307	9,533,584
土地	3,246,434	3,269,121
その他(純額)	577,370	970,637
有形固定資産合計	18,553,385	17,994,363
無形固定資産		
その他	92,867	82,942
無形固定資産合計	92,867	82,942
投資その他の資産		
その他	634,801	602,704
貸倒引当金	△21,374	△21,344
投資その他の資産合計	613,427	581,360
固定資産合計	19,259,680	18,658,665
資産合計	34,672,029	34,723,390
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,163,750	2,309,344
短期借入金	2,591,330	2,559,700
1年内返済予定の長期借入金	296,506	220,000
未払法人税等	382,474	116,841
賞与引当金	78,497	88,305
役員賞与引当金	3,950	—
その他	1,035,027	1,099,094
流動負債合計	6,551,534	6,393,285
固定負債		
長期借入金	295,000	130,000
役員退職慰労引当金	5,572	6,834
退職給付に係る負債	143,837	167,205
その他	314,585	252,196
固定負債合計	758,993	556,236
負債合計	7,310,527	6,949,520

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,018,648	3,018,648
資本剰余金	2,758,706	2,758,585
利益剰余金	20,642,004	20,972,285
自己株式	△9,823	△9,883
株主資本合計	26,409,534	26,739,634
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	564,686	618,193
退職給付に係る調整累計額	△54,978	△45,442
その他の包括利益累計額合計	509,708	572,751
非支配株主持分	442,260	461,485
純資産合計	27,361,502	27,773,870
負債純資産合計	34,672,029	34,723,390

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	16,913,403	16,175,617
売上原価	13,355,869	13,290,098
売上総利益	3,557,533	2,885,519
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	734,802	681,795
荷造運搬費	334,331	326,152
賞与引当金繰入額	12,939	12,429
退職給付費用	47,338	44,411
その他	1,098,508	1,027,005
販売費及び一般管理費合計	2,227,918	2,091,792
営業利益	1,329,615	793,727
営業外収益		
受取利息	16,568	25,057
受取配当金	388	300
受取賃貸料	16,457	14,445
受取補償金	41,680	—
雇用調整助成金	22,742	—
為替差益	48,900	131,227
その他	38,768	36,917
営業外収益合計	185,503	207,946
営業外費用		
支払利息	50,922	58,654
賃貸収入原価	1,091	1,091
固定資産除却損	28,674	20,341
その他	14,045	324
営業外費用合計	94,731	80,409
経常利益	1,420,387	921,264
特別損失		
減損損失	138,697	53,080
特別損失合計	138,697	53,080
税金等調整前四半期純利益	1,281,690	868,184
法人税、住民税及び事業税	364,359	210,146
法人税等調整額	169,366	43,499
法人税等合計	533,725	253,645
四半期純利益	747,965	614,539
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,557	17,254
親会社株主に帰属する四半期純利益	755,522	597,285

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	747,965	614,539
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	601,325	55,366
退職給付に係る調整額	13,106	9,528
その他の包括利益合計	614,431	64,893
四半期包括利益	1,362,396	679,432
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,365,515	660,328
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,119	19,105

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 減損損失

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

前第3四半期連結累計期間において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

場所	用途	種類	金額 (千円)
FUJI 00ZX MEXICO, S.A. DE C.V. (メキシコ合衆国グアナフアト州)	自動車部品製造設備	建物及び構築物、 機械装置及び運搬具	138,697

当社グループは、自動車部品製造の単一セグメントであるため、会社単位を基準として資産のグルーピングを行い、遊休資産については、個々の資産単位でグルーピングを行っております。

連結子会社のFUJI 00ZX MEXICO, S.A. DE C.V.においては、半導体不足をはじめとした事業環境の変化に伴い収益性が低下したことにより、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を特別損失として計上いたしました。

なお、当該資産グループの回収可能価額は、使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローを13.4%で割り引いて算定しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

場所	用途	種類	金額 (千円)
FUJI 00ZX MEXICO, S.A. DE C.V. (メキシコ合衆国グアナフアト州)	自動車部品製造設備	建物及び構築物、 機械装置及び運搬具	53,080

当社グループは、自動車部品製造の単一セグメントであるため、会社単位を基準として資産のグルーピングを行い、遊休資産については、個々の資産単位でグルーピングを行っております。

連結子会社のFUJI 00ZX MEXICO, S.A. DE C.V.においては、半導体不足をはじめとした事業環境の悪化が継続していることを勘案し、回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額しました。

なお、当該資産グループの回収可能価額は、使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローを14.9%で割り引いて算定しております。